

鶏肉情勢

令和2年8月3日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目		内容		実績																																																																																																		
生	1. 国内	(1) 生産・処理動向調査(一社)日本食鳥協会7月下旬実施)によると、6月の推計実績は、処理羽数60,064千羽(前年比105.3%)・処理重量177.6千ト(同102.3%)となり、前月時点の計画値と比較すると処理羽数(同104.7%)、処理重量(同102.0%)とも上回った。しかしながら伸び率でみると処理羽数で+0.6%に対し処理重量が+0.3%と下回っており、天候不順等で生育に影響がでたものと考えられる。廃棄合計も3.74%と前年同月より0.74%上回った。 (2) 7月は処理羽数(前年比102.0%)・処理重量(同99.4%)と前月時点の予測と変わらず増体が鈍る計画。8月は処理羽数(同99.0%)、処理重量(99.3%)とも下回るもの同水準。9月処理羽数(同104.5%)、処理重量(同105.1%)とそれぞれ増加計画となっている。本来であればこの時期今年はオリーブラバ年ということで盛り上がりつつあるところ新型コロナウイルスの感染拡大の影響で異様な夏を迎えている。緊張感が高まるなか消費面で、インバウンド需要・外食向けの激減、大規模イベント等の中止・自粛や夜間の外出自粛等による消費の落ち込みが続いている。国産鶏肉に関しては、内食需要により生協・量販店等では一時期程ではないが好調をキープしている。今後も自粛ムードが長期化すれば、一定の内食需要は継続すると思われるため、猛暑の影響も想定されるが鶏肉相場は当面弱保合が予測される。		生産状況 単位:千羽、千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2年6月推計実績</th> <th colspan="2">R2年7月計画</th> <th colspan="2">R2年8月計画</th> <th colspan="2">R2年9月計画</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入雛羽数</td> <td>59,814</td> <td>104.4%</td> <td>62,412</td> <td>102.1%</td> <td>62,618</td> <td>98.2%</td> <td>66,842</td> <td>102.7%</td> </tr> <tr> <td>処理羽数</td> <td>60,064</td> <td>105.3%</td> <td>58,948</td> <td>102.0%</td> <td>56,916</td> <td>99.0%</td> <td>59,030</td> <td>104.5%</td> </tr> <tr> <td>処理重量</td> <td>177.6</td> <td>102.3%</td> <td>173.0</td> <td>99.4%</td> <td>165.9</td> <td>99.3%</td> <td>173.2</td> <td>105.1%</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」											R2年6月推計実績		R2年7月計画		R2年8月計画		R2年9月計画		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	入雛羽数	59,814	104.4%	62,412	102.1%	62,618	98.2%	66,842	102.7%	処理羽数	60,064	105.3%	58,948	102.0%	56,916	99.0%	59,030	104.5%	処理重量	177.6	102.3%	173.0	99.4%	165.9	99.3%	173.2	105.1%																																													
					R2年6月推計実績		R2年7月計画		R2年8月計画		R2年9月計画																																																																																											
数量	前年比	数量	前年比		数量	前年比	数量	前年比																																																																																														
入雛羽数	59,814	104.4%	62,412	102.1%	62,618	98.2%	66,842	102.7%																																																																																														
処理羽数	60,064	105.3%	58,948	102.0%	56,916	99.0%	59,030	104.5%																																																																																														
処理重量	177.6	102.3%	173.0	99.4%	165.9	99.3%	173.2	105.1%																																																																																														
産	2. 輸入	(1) 財務省7月30日発表の貿易統計によると、6月の鶏肉(原料肉)輸入量は50.7千ト(前年比116.8%)で、日本食肉輸出入協会の現地積み出し数量と検査数量をもとに出した予測(47.60千ト)を約3.05千ト上回り、昨年10月(51.60千ト)以来の50千トを超えとなった。国別ではブラジルが予測を約3.6千ト上回る39.67千ト(同120.1%)、タイは逆に約0.3千ト下回る9.23千ト(同107.3%)となった。1-6月累計でも265.7千ト(同102.1%)と前年を上回った。同協会(7月20日公表)によると7月は48.4千ト(同91.1%)、8月は44.8千ト(同88.7%)予測し、『緊急事態宣言』解除後、外食の売上げが回復するか見えたが、新規感染者数の増加に伴い、再び売れ行きが停滞しており、在庫量の増加も相まって回復の兆しが見えない。と指摘し今後もブラジル・タイとも一定程度は輸入されるものと見込まれる。とコメントしている。 (2) 鶏肉調整品の6月輸入量は41.59千ト(前年比106.7%)と、前月より約5.0千ト増加した。国別ではタイ産が前月比約2.9千ト増加し前年比117.6%の27.17千ト、中国産も前月比約2.1千ト増加の14.06千ト(同90.5%)となった。1-6月累計では1-2月の減少が大きく96.5%と1-5月累計(同94.6%)よりは若干回復した。7月以降についても、流動的で中国の動向次第ではあるが国内向け需要増もあり調整品全体の輸入減少が見込まれる。		輸入動向 単位:千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">鶏肉</th> <th colspan="3">調製品</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="2">比率</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>鶏肉</th> <th>調製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年3月</td> <td>46.7</td> <td>39.6</td> <td>118.1</td> <td>42.7</td> <td>42.5</td> <td>100.4</td> <td>89.4</td> <td>82.1</td> <td>108.9</td> <td>52.2</td> <td>47.8</td> </tr> <tr> <td>R2年4月</td> <td>46.7</td> <td>47.3</td> <td>98.8</td> <td>44.4</td> <td>44.8</td> <td>99.1</td> <td>91.1</td> <td>92.1</td> <td>98.9</td> <td>51.3</td> <td>48.7</td> </tr> <tr> <td>R2年5月</td> <td>36.1</td> <td>46.6</td> <td>77.5</td> <td>36.6</td> <td>41.0</td> <td>89.2</td> <td>72.7</td> <td>87.6</td> <td>83.0</td> <td>49.7</td> <td>50.3</td> </tr> <tr> <td>R2年6月</td> <td>50.7</td> <td>43.4</td> <td>116.8</td> <td>41.6</td> <td>39.0</td> <td>106.7</td> <td>92.2</td> <td>82.4</td> <td>112.0</td> <td>54.9</td> <td>45.1</td> </tr> <tr> <td>R2年累計</td> <td>265.7</td> <td>260.2</td> <td>102.1</td> <td>236.6</td> <td>245.2</td> <td>96.5</td> <td>502.3</td> <td>505.4</td> <td>99.4</td> <td>52.9</td> <td>47.1</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞										品名	鶏肉			調製品			合計			比率		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	R2年3月	46.7	39.6	118.1	42.7	42.5	100.4	89.4	82.1	108.9	52.2	47.8	R2年4月	46.7	47.3	98.8	44.4	44.8	99.1	91.1	92.1	98.9	51.3	48.7	R2年5月	36.1	46.6	77.5	36.6	41.0	89.2	72.7	87.6	83.0	49.7	50.3	R2年6月	50.7	43.4	116.8	41.6	39.0	106.7	92.2	82.4	112.0	54.9	45.1	R2年累計	265.7	260.2	102.1	236.6	245.2	96.5	502.3	505.4	99.4	52.9	47.1						
				品名	鶏肉			調製品			合計				比率																																																																																							
当年	前年	前年比	当年		前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品																																																																																											
R2年3月	46.7	39.6	118.1	42.7	42.5	100.4	89.4	82.1	108.9	52.2	47.8																																																																																											
R2年4月	46.7	47.3	98.8	44.4	44.8	99.1	91.1	92.1	98.9	51.3	48.7																																																																																											
R2年5月	36.1	46.6	77.5	36.6	41.0	89.2	72.7	87.6	83.0	49.7	50.3																																																																																											
R2年6月	50.7	43.4	116.8	41.6	39.0	106.7	92.2	82.4	112.0	54.9	45.1																																																																																											
R2年累計	265.7	260.2	102.1	236.6	245.2	96.5	502.3	505.4	99.4	52.9	47.1																																																																																											
需	1. 家計消費	(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、5月は、全国一世帯当たりの3畜産生鮮肉の消費(購入)数量は4,459g(前年比121.1%)、金額は6,788円(同124.2%)となった。5月中旬以降緊急事態宣言が解除されたものの、外出自粛による内食需要が底堅く推移した。牛肉は数量(同128.4%)・金額(同127.6%)ともに上回り、豚肉も数量(同118.8%)・金額(同123.0%)ともに上回った。鶏肉についても同様で牛肉・豚肉に比べ安価なこと等で前月に引き続きテレポート等の販売が順調で数量(同121.0%)、金額(同121.8%)とも前年を大きく上回った。また加工品についても同じく「買いため需要」等でハム(同104.1%)、ソーセージ(同113.6%)の数量が増加した。		鶏肉の消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">数量</th> <th colspan="3">金額</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年3月</td> <td>1,617</td> <td>1,428</td> <td>113.2</td> <td>1,451</td> <td>1,332</td> <td>108.9</td> </tr> <tr> <td>R2年4月</td> <td>1,805</td> <td>1,365</td> <td>132.2</td> <td>1,574</td> <td>1,271</td> <td>123.8</td> </tr> <tr> <td>R2年5月</td> <td>1,716</td> <td>1,418</td> <td>121.0</td> <td>1,578</td> <td>1,296</td> <td>121.8</td> </tr> <tr> <td>R2年平均</td> <td>1,580</td> <td>1,407</td> <td>112.3</td> <td>1,444</td> <td>1,309</td> <td>110.3</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料:総務省統計局HP										履歴	数量			金額			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R2年3月	1,617	1,428	113.2	1,451	1,332	108.9	R2年4月	1,805	1,365	132.2	1,574	1,271	123.8	R2年5月	1,716	1,418	121.0	1,578	1,296	121.8	R2年平均	1,580	1,407	112.3	1,444	1,309	110.3																																																
				履歴	数量			金額																																																																																														
					当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																												
R2年3月	1,617	1,428	113.2	1,451	1,332	108.9																																																																																																
R2年4月	1,805	1,365	132.2	1,574	1,271	123.8																																																																																																
R2年5月	1,716	1,418	121.0	1,578	1,296	121.8																																																																																																
R2年平均	1,580	1,407	112.3	1,444	1,309	110.3																																																																																																
2. 量販・卸	(1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、6月の食品売上高は全店ベースで前年比105.9%と上回り、生鮮3部門の売上高も全店ベースで前年比108.8%、既存店ベースでも同107.3%と上回った。畜産部門の売上高は1,103億円で全店ベース(同108.3%)、既存店ベース(同106.7%)とも前月に続き上回った。「まとめ買い傾向は落ち着きがみられているものの、家庭での調理用食材への需要は高止まりしており、土日が前年より一日少ない曜日巡りにもかかわらず全般的に好調となった。特に高い気温により焼肉向け商材の動きが良く、なかでも和牛相場が下落しており、高単価商品が引き続き好調となった。国産豚肉は相場が上昇しており伸び悩んだ店舗もみられた。ハムやソーセージなどの加工肉は引き続き好調となっている。」と報告された。また総菜部門の売上高は全店ベース(同100.1%)では昨年並みも既存店ベース(同99.0%)ではやや不調となった。「外出自粛による行楽向け、イベント中止による大人数用総菜、家庭内調理機会の増加による中食需要の低下、ばら売り販売中止が影響した。気温が高く涼味関連の動きがよかったが米飯類が悪かった。」と報告があった。		相場(年別・暦年) 単位:円 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="2">もも肉</th> <th colspan="2">むね肉</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>当年</th> <th>前年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年</td> <td>626</td> <td>294</td> <td>920</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27年</td> <td>639</td> <td>336</td> <td>975</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28年</td> <td>621</td> <td>255</td> <td>876</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>626</td> <td>315</td> <td>941</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>595</td> <td>282</td> <td>877</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R元年</td> <td>585</td> <td>243</td> <td>828</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										履歴	もも肉		むね肉		計	当年	前年	当年	前年	H26年	626	294	920			H27年	639	336	975			H28年	621	255	876			H29年	626	315	941			H30年	595	282	877			R元年	585	243	828																																														
			履歴	もも肉		むね肉		計																																																																																														
当年	前年	当年		前年																																																																																																		
H26年	626	294	920																																																																																																			
H27年	639	336	975																																																																																																			
H28年	621	255	876																																																																																																			
H29年	626	315	941																																																																																																			
H30年	595	282	877																																																																																																			
R元年	585	243	828																																																																																																			
3. 業務・加工筋	(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる5月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比95.7%の4.39千トとなった。うち国内物は同99.1%の3,784千トと若干下回ったものの、輸入物が同79.0%の0,614千トと大きく下回った。1-5月累計では国産物は同104.1%と上回っているものの、輸入物が同79.0%と大幅に下回った。加工用としての輸入が減少したと思われる。鶏肉加工品は6月以降も引続き家庭内需要や中食需要の高まりから動きも堅調と考えられ、逆に中国等からの調整品輸入が減少となっていることを考えると国産物での製造量増加が期待できると思		在庫状況 単位:千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">国産</th> <th colspan="3">輸入品</th> <th colspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年2月</td> <td>29.8</td> <td>28.8</td> <td>103.3</td> <td>137.9</td> <td>130.0</td> <td>106.1</td> <td>167.7</td> <td>158.9</td> <td>105.6</td> </tr> <tr> <td>R2年3月</td> <td>31.1</td> <td>27.7</td> <td>112.5</td> <td>139.3</td> <td>124.7</td> <td>111.7</td> <td>170.4</td> <td>152.3</td> <td>111.9</td> </tr> <tr> <td>R2年4月</td> <td>27.2</td> <td>30.7</td> <td>88.5</td> <td>144.5</td> <td>122.4</td> <td>118.0</td> <td>171.7</td> <td>153.2</td> <td>112.1</td> </tr> <tr> <td>R2年5月</td> <td>21.1</td> <td>30.7</td> <td>68.8</td> <td>148.3</td> <td>122.1</td> <td>121.4</td> <td>169.4</td> <td>152.8</td> <td>110.9</td> </tr> </tbody> </table> ※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構										履歴	国産			輸入品			合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R2年2月	29.8	28.8	103.3	137.9	130.0	106.1	167.7	158.9	105.6	R2年3月	31.1	27.7	112.5	139.3	124.7	111.7	170.4	152.3	111.9	R2年4月	27.2	30.7	88.5	144.5	122.4	118.0	171.7	153.2	112.1	R2年5月	21.1	30.7	68.8	148.3	122.1	121.4	169.4	152.8	110.9																															
履歴	国産			輸入品			合計																																																																																															
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																													
R2年2月	29.8	28.8	103.3	137.9	130.0	106.1	167.7	158.9	105.6																																																																																													
R2年3月	31.1	27.7	112.5	139.3	124.7	111.7	170.4	152.3	111.9																																																																																													
R2年4月	27.2	30.7	88.5	144.5	122.4	118.0	171.7	153.2	112.1																																																																																													
R2年5月	21.1	30.7	68.8	148.3	122.1	121.4	169.4	152.8	110.9																																																																																													
在	1. 令和2年5月	(1) 推計期末在庫は国産21.1千ト(前年比68.8%・前月差△6.10千ト)、輸入品148.3千ト(同121.4%・同+3.76千ト)と合計で169.4千ト(同110.9%・同△2.33千ト)となった。生産量が5.1千ト減少し、輸入量も10.6千ト減少した。国産品の出荷量が生産量を上回ったため、国産品の在庫は減少した。輸入品は、外食関連の需要減から出荷量が約9.2千ト減少32.35千トだったため在庫は増加し、前年からもさらに上回った。		相場(月別) 単位:円、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">もも肉</th> <th colspan="3">むね肉</th> <th colspan="3">正肉合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年4月</td> <td>581</td> <td>601</td> <td>96.7</td> <td>241</td> <td>232</td> <td>103.9</td> <td>822</td> <td>833</td> <td>98.7</td> </tr> <tr> <td>R2年5月</td> <td>609</td> <td>583</td> <td>104.5</td> <td>254</td> <td>227</td> <td>111.9</td> <td>863</td> <td>810</td> <td>106.5</td> </tr> <tr> <td>R2年6月</td> <td>610</td> <td>561</td> <td>108.7</td> <td>257</td> <td>226</td> <td>113.7</td> <td>867</td> <td>787</td> <td>110.2</td> </tr> <tr> <td>R2年7月</td> <td>598</td> <td>543</td> <td>110.1</td> <td>261</td> <td>222</td> <td>117.6</td> <td>859</td> <td>765</td> <td>112.3</td> </tr> <tr> <td>R2年8月</td> <td>(580)</td> <td>535</td> <td>108.4</td> <td>(270)</td> <td>225</td> <td>120.0</td> <td>(850)</td> <td>760</td> <td>111.8</td> </tr> <tr> <td>R2年9月</td> <td>(580)</td> <td>544</td> <td>106.6</td> <td>(270)</td> <td>235</td> <td>114.9</td> <td>(850)</td> <td>779</td> <td>109.1</td> </tr> <tr> <td>R2年平均</td> <td>599</td> <td>612</td> <td>97.9</td> <td>253</td> <td>242</td> <td>104.5</td> <td>852</td> <td>854</td> <td>99.8</td> </tr> </tbody> </table> ※()は見通し ※1-7月平均										品名	もも肉			むね肉			正肉合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R2年4月	581	601	96.7	241	232	103.9	822	833	98.7	R2年5月	609	583	104.5	254	227	111.9	863	810	106.5	R2年6月	610	561	108.7	257	226	113.7	867	787	110.2	R2年7月	598	543	110.1	261	222	117.6	859	765	112.3	R2年8月	(580)	535	108.4	(270)	225	120.0	(850)	760	111.8	R2年9月	(580)	544	106.6	(270)	235	114.9	(850)	779	109.1	R2年平均	599	612	97.9	253	242	104.5	852	854	99.8
				品名	もも肉			むね肉			正肉合計																																																																																											
当年	前年	前年比	当年		前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																													
R2年4月	581	601	96.7	241	232	103.9	822	833	98.7																																																																																													
R2年5月	609	583	104.5	254	227	111.9	863	810	106.5																																																																																													
R2年6月	610	561	108.7	257	226	113.7	867	787	110.2																																																																																													
R2年7月	598	543	110.1	261	222	117.6	859	765	112.3																																																																																													
R2年8月	(580)	535	108.4	(270)	225	120.0	(850)	760	111.8																																																																																													
R2年9月	(580)	544	106.6	(270)	235	114.9	(850)	779	109.1																																																																																													
R2年平均	599	612	97.9	253	242	104.5	852	854	99.8																																																																																													
庫	2. 見通し	(1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(7月29日公表)では、6月は国内生産量が前月より増加(+3.1千ト)し、輸入量も前月比で約11.5千ト増加、出荷量も前月比で約10.9千ト増加するものの期末在庫は約170.8千トと前月より約1.4千ト増加し、前年(153.6千ト)より約11.2%増加の見通しとなっている。 (2) 7月は前月比で生産量が約8.1千ト減少し、輸入量はブラジル中心に約0.8千ト増加、出荷量は約4.0千ト減少するものの期末在庫は国産・輸入品合計で約1.9千ト減少の約168.9千ト(前年比107.8%)と予測されている。8月は生産量が約0.5千ト減少し、輸入量も約3.6千ト減少、出荷量も約6.2千ト減少するため、在庫は0.3千ト増加の約169.2千ト(前年比107.8%)と予測されている。今後も新型コロナウイルスの影響による需給動向に注視が必要である。		※()は見通し ※1-7月平均																																																																																																		
				相	1. 7月動向	(1) 7月の平均相場は、もも肉598円/kg(前月比△12円)・むね肉261円/kg(同+4円)正肉合計で859円/2kgと前月比で8円下回るも、前年比では94円上回った。もも肉は月初605円で始まり、多少の変動はあったものの下げ基調で推移し月末589円と結果16円安となった。むね肉は、逆に月初258円・月末263円と5円高と上げ基調の推移となった。月後半に4連休があったものの東京中心に外出自粛等もあり、内食需要が引き続き強く量販店等からの引き合いに左右された格好になったと思われる。		※()は見通し ※1-7月平均																																																																																														
場	2. 8月見通	(1) 気象庁発表のこの先1か月の気温は、梅雨明けとともに夏の高気圧が勢力を強め全国的に猛暑となる見込み。新型コロナウイルスについても先行き不透明で予測がつかない中、月中多少の上昇下降はあると思われるが、もも肉は月平均580円のやや下げと予測する。むね肉については、加工筋からの引合いも堅調であるため、やや上げの月平均270円と予測する。						※()は見通し ※1-7月平均																																																																																														